

一般社団法人日本医療機器学会  
2019年度（第2回）  
クリニカルエンジニアリング研究会開催のお知らせ

日 時：2019年10月12日(土) 午後2時00分～午後5時00分  
場 所：東京大学医学部附属病院 管理・研究棟2階 第1会議室  
アクセス：<http://www.h.u-tokyo.ac.jp/access/train/>  
構内地図：[http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_03\\_10\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_03_10_j.html)  
参加費：1,000円（ただし、学生無料）  
備 考：事前参加申し込みは不要ですので、直接会場にお越し下さい。  
※本研究会に参加されると、MDIC認定の更新ポイント（10単位）が取得できます。

主 催：一般社団法人日本医療機器学会 クリニカルエンジニアリング委員会

メインテーマ

「医療機器本体 GS1-128 表示による保守管理の功罪」

プログラム：企画 酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学）  
（敬称略）

14:00～14:05 開会の挨拶

1. 14:05～14:45

安全で効率的な医療機器のための GS1-128 導入方策とは  
澤田 真如（東海大学医学部附属病院麻酔科・助教）

2. 14:45～15:15

医療機器安全管理のためのトレーサビリティの重要性  
原山 秀一（一般社団法人日本医療機器産業連合会 UDI 委員会委員、  
ビー・ブラウンエースクラブ(株) GAMA・部長）

休憩（15:15～15:25）

3. 15:25～15:55

欧米の UDI ルールから見た医療機器本体表示の考え方  
植村 康一（一般財団法人流通システム開発センター  
ソリューション第1部・部長）

4. 15:55～16:25

病院ユーザが保守点検時にGS1-128を有効活用できる環境整備  
—製造販売業者が UDI で考えておかなければならないこと—  
酒井 順哉（名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学・教授）

5. 16:25～16:55

総合討論

16:55～17:00 閉会の挨拶

○問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-39-15 医科器械会館 4階  
一般社団法人 日本医療機器学会事務局  
池野谷まで（E-mail: [ikenoya@jsmi.gr.jp](mailto:ikenoya@jsmi.gr.jp)）

# <会場案内図>

